

《キーワード》 顎・顔面・口腔外科

《担当者名》 永易 裕樹

【概要】

顎・顔面・口腔の構造と機能を理解し、口腔・顎並びに隣接組織に現れる疾患の原因、病理、症状、診断、処置及び予後についての知識を身につけ、問診、画像・検査所見からの総合的な診断、及び最も適した治療方針の立案、基本的な外科処置について習得することを目標とする。

口腔外科学特論 ・ 実習では主に奇形・変形症、顎関節疾患、悪性腫瘍、歯の移植と再植、歯とその周囲組織の外科について学習する。

【学修目標】

1. 顎・顔面・口腔領域に生じる奇形の病態及び治療法について説明できる。
2. 顎変形症の診断、治療法について説明できる。
3. 顎関節疾患について説明できる。
4. 頭頸部領域に生じる悪性腫瘍の病態と治療法について説明できる。
5. 歯の移植と再植の適応術式、予後について説明できる。
6. 歯とその周囲組織の外科の術式、適応について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	顎・顔面・口腔領域に生じる奇形の病態、診断と治療	顎・顔面・口腔領域に生じる奇形の病態及び治療法について説明できる。	永易 裕樹
2	顎変形症の診断と治療	顎変形症の診断、治療法について説明できる。	永易 裕樹
3	顎関節疾患の診断と治療	顎関節疾患について説明できる。	永易 裕樹
4	頭頸部悪性腫瘍の病態と診断	頭頸部領域に生じる悪性腫瘍の病態と診断について説明できる。	永易 裕樹
5	頭頸部悪性腫瘍の治療	頭頸部領域に生じる悪性腫瘍の治療法について説明できる。	永易 裕樹
6	前癌病変とその治療	頭頸部領域に生じる前癌病変の病態と治療法について説明できる。	永易 裕樹
7	歯の移植と再植	歯の移植と再植の適応術式、予後について説明できる。	永易 裕樹
8	歯とその周囲組織の外科	歯とその周囲組織の外科の術式、適応について説明できる。	永易 裕樹

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

口頭試問又は筆記試験

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

外来においての実習を含む。

【学修の準備】

顎・顔面・口腔領域の奇形、顎変形症、顎関節疾患、悪性腫瘍、外科手術に関する総論を理解したうえで受講するのが望ましい。